

国境を超える出稼ぎ者 労働者送金と開発途上国の発展

吉川 愛子

2014年度 FASiD 奨学金プログラム採用 (2期生)

奨学期間: 2014年10月~1年間以内

修学機関: 政策研究大学院大学 (GRIPS)

国家建設と経済発展プログラム博士課程2年在籍

研究課題: 「労働者送金が人的・物的資源への投資行動に与える影響の分析
—バングラデシュを例として—」

(きっかわ あいこ) 上智大学比較文化学部卒、オックスフォード大学院修士課程修了(移民・難民学) NPO、地方自治体(横浜市)及び国際機関(国際移住機関(IOM))での勤務を通じ、20年ほど海外雇用(海外出稼ぎ)の分野で政策提言や労働者権利保護の仕事に従事。2010年より政策研究大学院大学修士課程において開発学を専攻し、開発経済学と計量経済学を学ぶ。同大学博士課程に進学、労働者送金が開発にもたらす影響について研究を行っている。

経済活動のグローバル化、国境を超える交通・通信手段のめざましい発達により、開発途上国の労働者の海外出稼ぎは増加傾向にあります。多くの出稼ぎ者が母国の家族に仕送りをしますが、この労働者送金(workers' remittances)は開発途上国と家計にとって、重要な収入源となってきています。世界銀行の推計では、2012年には、政府間援助(ODA)総額の3倍強の額に相当する4010億ドルという巨額の労働者送金が開発途上国に流れています。



海外出稼ぎに出る労働者。ダッカ国際空港にて (写真提供: 国際移住機関(IOM))

バングラデシュは中東や東南アジア諸国に出稼ぎ労働者を送り出している国で、正規ルートだけでも毎年 20-80 万人ほどの労働者が海外就労のために出国しています。これらの海外就労者からの送金は総額 140 億ドルを超え、バングラデシュの GDP の 12%に相当する莫大な額となっています。バングラデシュを代表する産業である縫製業と並んで労働者送金が国内経済を牽引しています。

出稼ぎと労働者送金は開発途上国とその家計にさまざまな影響をもたらしています。先行の実証研究により、労働者送金が貧困削減に貢献しているとともに、リスクヘッジ(保険)の役割を担っており、自然災害等の非常事態において、損失をカバーし、生活必需品の支出の減少を食い止めることがわかってきています。しかし、送金が貧困削減や開発に与えるインパクトを考える上で、最も重要な視点の一つが、労働者送金が教育などの人的資源、そして農業技術などの物的資源への投資を促すものなのか、それとも短期的な消費を増やすだけなのかという点を検討することだと考えます。送金に長期的かつ持続的な貧困削減効果を期待するには、送金された資金が各家計において、人的・物的資本に投資され、それによって受給家計が持続的に生産性を上げることが望まれるのです。この点について先行研究はその数が少なく、一貫した答えが出されていません。

私は **FASID** の奨学金を頂きながら、この課題について実証研究を行っています。バングラデシュの家計調査のデータを使い、労働者送金が受給家計においてどのように消費・投資されているのか、特に人的物的資本などの家計の厚生を向上させるであろう教育、職業・技術研修、医療費などの人的資本への投資傾向・行動、また農業技術の向上や、起業、貯蓄や保険を含む金融資産の増加や土地購入などに着目しながら、実証分析を行っています。

今年9月、2週間の現地調査を行い、出稼ぎ者を輩出する農村において出稼ぎ経験者や送金を受給する家族、村のリーダーなどから聞き取り調査を行いました。各家計で送金がどのように使われているのか、収入を期待できる投資先の有無や種類など、研究に非常に有益な情報を得ることができました。送金は大家族の日々の出費を賄うだけでとても投資には回せないという家計もあれば、価格の上昇が期待できる土地の購入に充てたことで、食べることに困っていた生活から解放されたという話も聞きました。送金であまり何も投資できなかったが、家だけは立派なものに建て直したという家庭もありました。また、魚の養殖など、初期費用はかかるものの持続的に収入が期待できる投資資金をねん出するために出稼ぎをし、実現しているという計画的なケースもありました。一方で海外出稼ぎには莫大な渡航あっせん料が必要なことから、ローンの支払いに追われたり、あっせん業者に騙されて就労できずに帰国し、多額の負債を抱えているといったケースも多くみられました。

本研究の課題である労働者送金の家計における支出状況、とくに投資行動への影響の分析と、そのメカニズムを明らかにすることで、送金を生産的な投資先へ導くための詳細かつ実証された知識が形成され、バングラデシュを含む多くの海外雇用者を抱える開発途上国の開発計画立案プロセスや、政府・非政府団体の開発援助プログラム運営に有益な情報を提供できればと考えています。



農村の家はトタン製のものが多いが、送金によって頑丈なレンガ(モルタル)造りに建て替えが進んでいる



海外出稼ぎで資金を作り、魚の養殖を始めたケース

(以 上)